

## ． 現在利用している金融機関

### 1. 現在利用している金融機関（問2 - 1 複数回答）

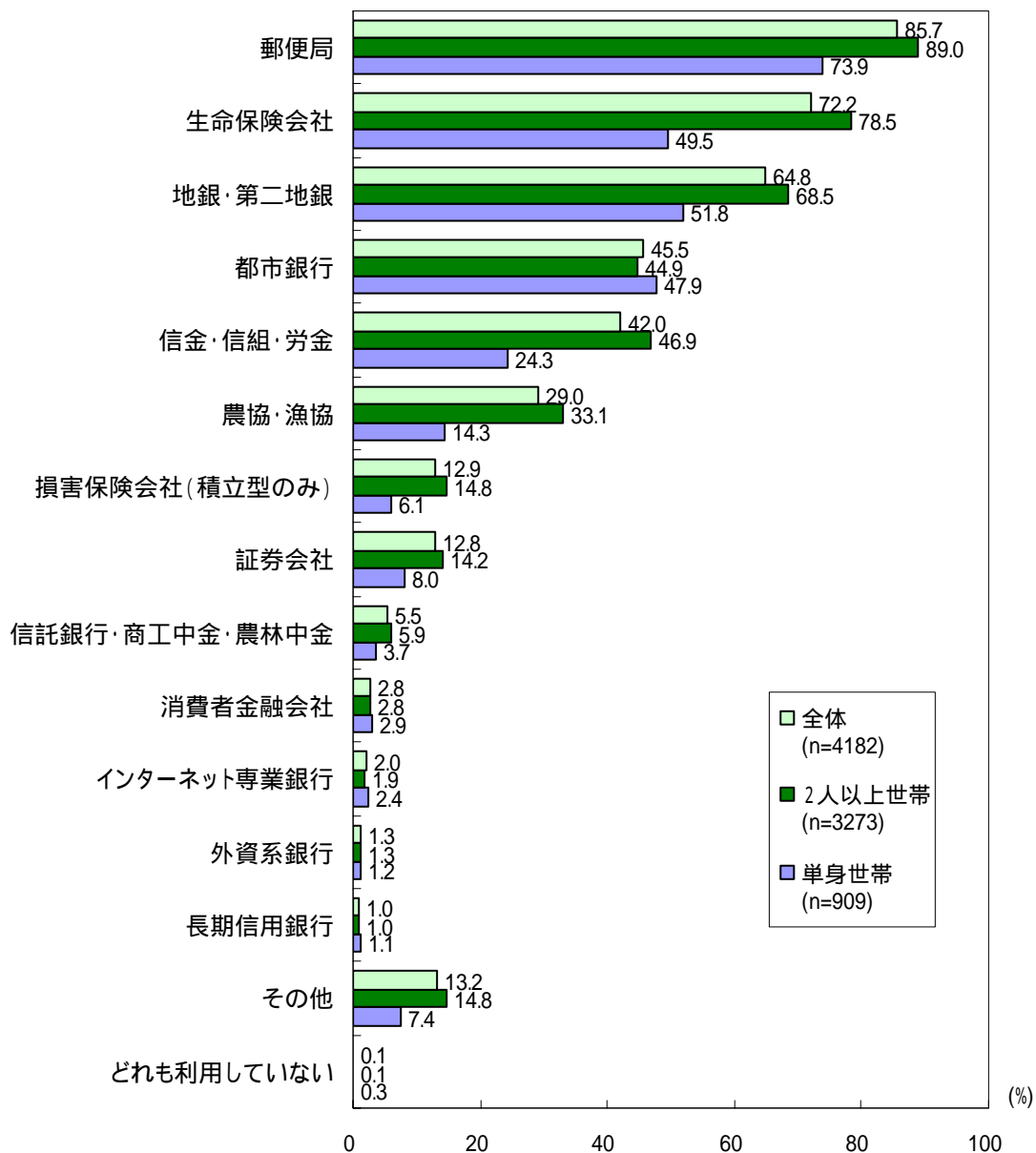
問2(1) お宅で現在利用している(口座や借入がある、株取引がある等)金融機関について、「利用の有無」の欄の「有」に をつけてください。また、現在利用していない金融機関については、「無」に をつけてください。

#### <世帯別>

現在利用している金融機関としては、「郵便局」(85.7%)の利用率が最も高く、次いで、「生命保険会社」(72.2%)、「地銀・第二地銀」(64.8%)が続いている。

全体として、2人以上世帯の利用率が単身世帯より高いが、「都市銀行」については、単身世帯の利用率(47.9%)が2人以上世帯(44.9%)を上回っている。

現在利用している金融機関(複数回答)



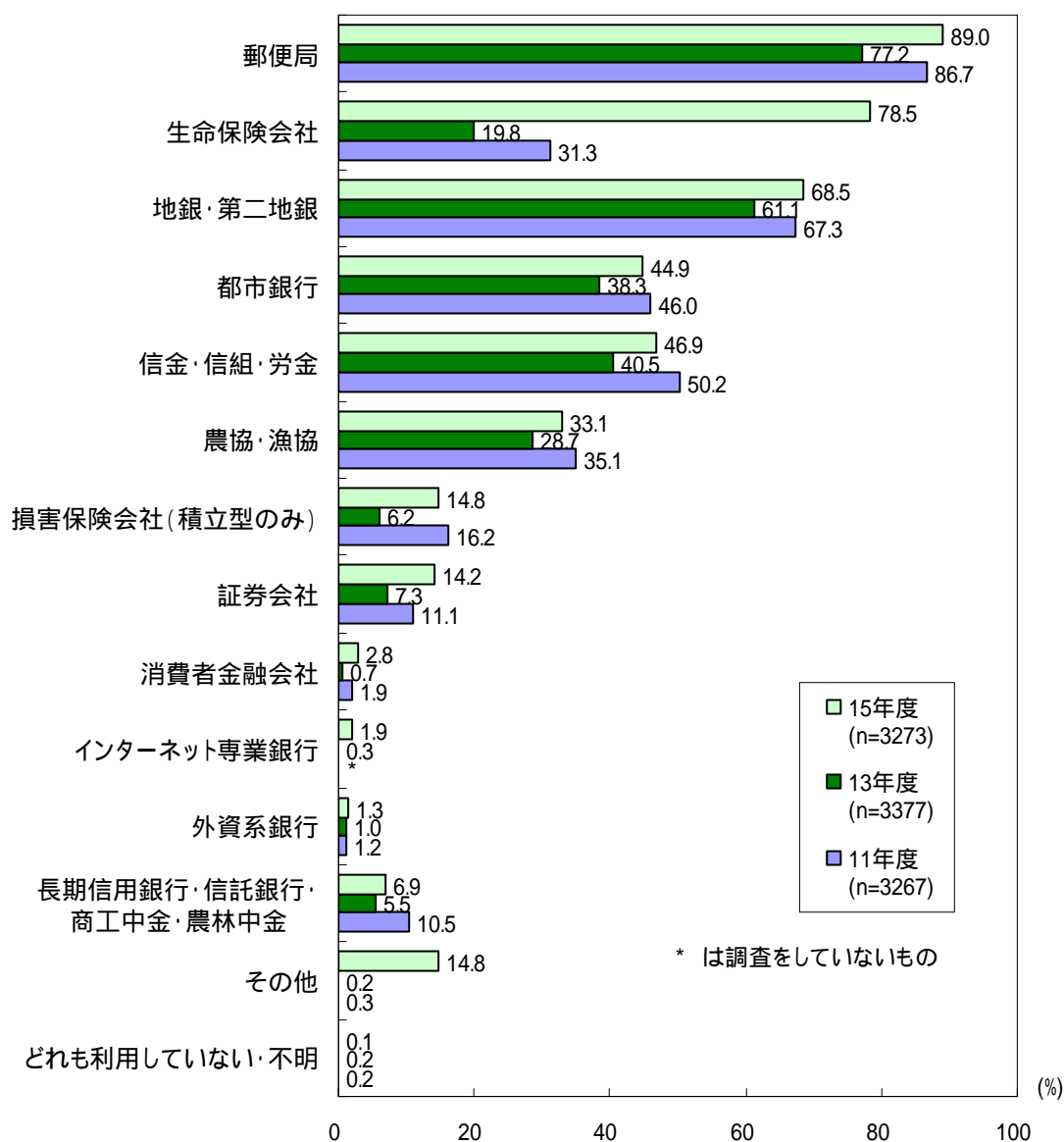
### <時系列比較> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、11年度調査、13年度調査と比較すると、「生命保険会社」が、前々回(31.3%)、前回(19.8%)から大幅に増加し、78.5%となっている。

これは、15年度調査においては、集計の際、問22において生命保険に加入していると答えた世帯については、本項目における「生命保険会社」も利用しているとみなしたことが1つの理由として考えられる。なお、本問で「生命保険会社」を選択していなかったにもかかわらず、問22をもとに「利用している」とみなした世帯は、2人以上世帯で893世帯(27.3%)あった。これにより、2人以上世帯における「生命保険会社」の利用率が、51.2%から78.5%に上方修正されている。

この結果より、生命保険に加入していても、「現在利用している金融機関」としては、「生命保険会社」を意識していない世帯が多いことがわかる。

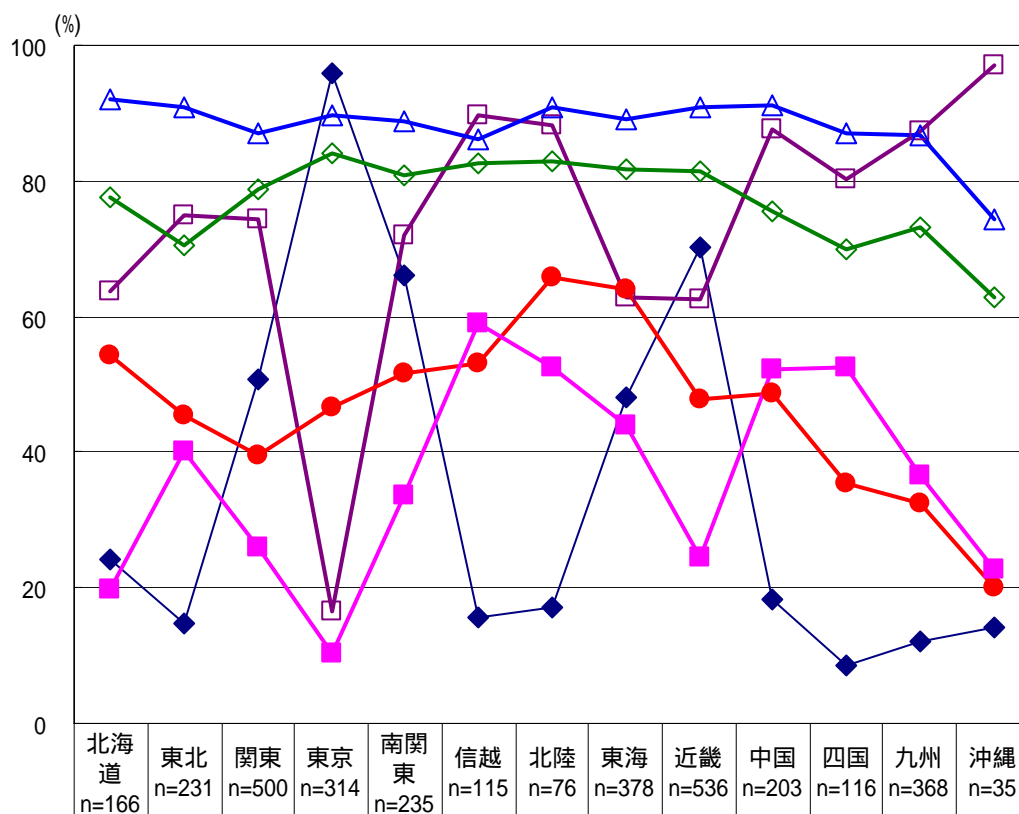
時系列比較 現在利用している金融機関(複数回答) <2人以上世帯>



### <地域ブロック別> (2人以上世帯)

利用率の高い金融機関について、2人以上世帯について、地域ブロック別にみると、「郵便局」「生命保険会社」を利用しているとした世帯の割合は、地域ブロック別にそれほど大きな差はみられなかったが、その他の金融機関については、地域ブロックによって利用率が異なっている。

地域ブロック別 現在利用している金融機関(複数回答) <2人以上世帯>

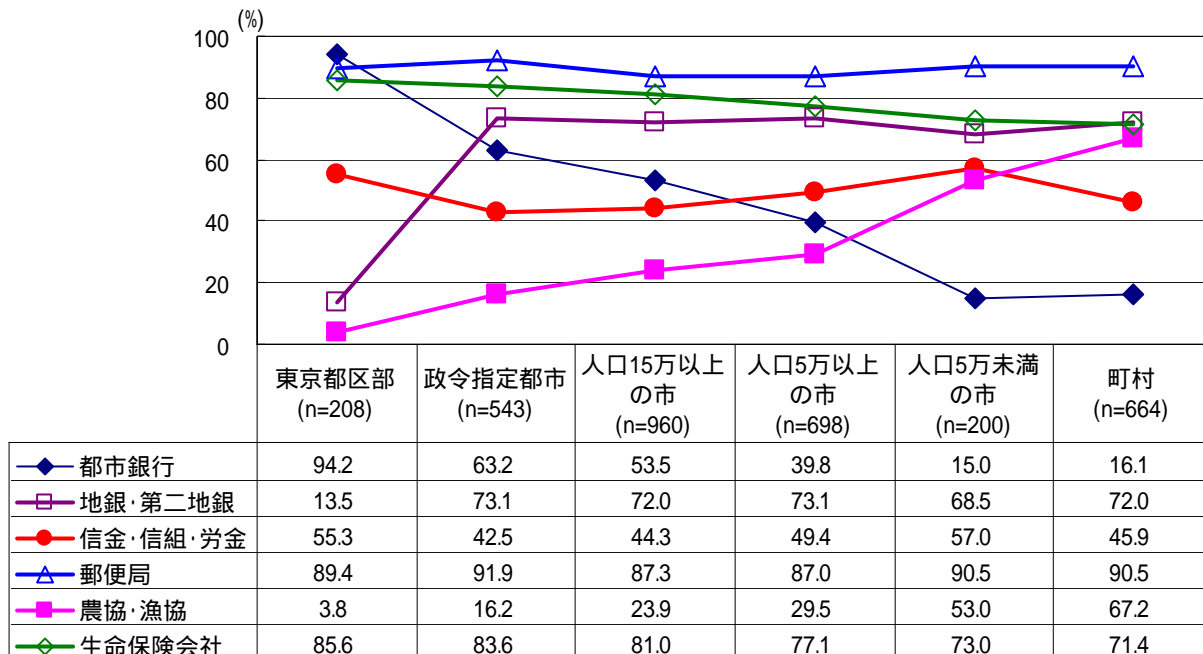


◆ 都市銀行	24.1	14.7	50.6	95.9	66.0	15.7	17.1	48.1	70.1	18.2	8.6	12.0	14.3
□ 地銀・第二地銀	63.9	74.9	74.4	16.6	71.9	89.6	88.2	63.0	62.5	87.7	80.2	87.2	97.1
● 信金・信組・労金	54.2	45.5	39.6	46.5	51.5	53.0	65.8	64.0	47.8	48.8	35.3	32.3	20.0
△ 郵便局	92.2	90.9	87.0	89.8	88.9	86.1	90.8	89.2	90.9	91.1	87.1	86.7	74.3
■ 農協・漁協	19.9	40.3	26.0	10.2	33.6	59.1	52.6	43.9	24.6	52.2	52.6	36.7	22.9
◇ 生命保険会社	77.7	70.6	78.8	84.1	80.9	82.6	82.9	81.7	81.3	75.4	69.8	73.1	62.9

### < 都市規模別 > (2人以上世帯)

利用率の高い金融機関について、2人以上世帯について、都市規模別にみると、「郵便局」は、都市規模別にほとんど差がみられない。「地銀・第二地銀」は、「東京都区部」における利用率が13.5%と低くなっているが、その他では7割前後の世帯が利用している。また、都市規模が小さくなるにつれて「都市銀行」の利用率が低くなる一方、「農協・漁協」の利用率が高くなっている。

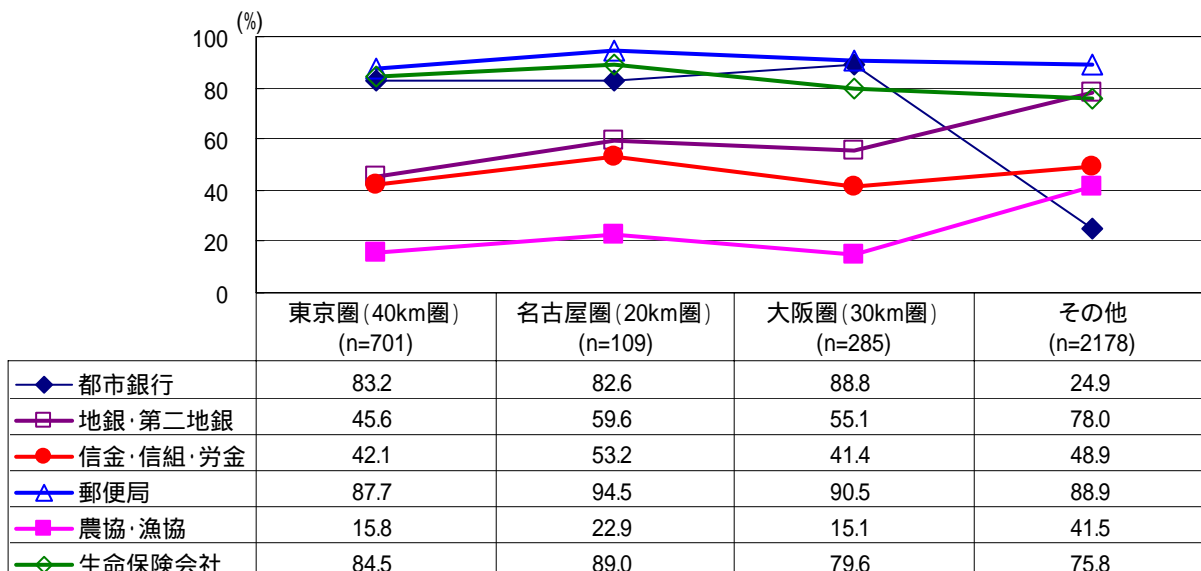
都市規模別 現在利用している金融機関(複数回答) < 2人以上世帯 >



### < 都市圏別 > (2人以上世帯)

利用率の高い金融機関について、2人以上世帯について、都市圏別にみると、「都市銀行」は、三大都市圏においては8割以上の世帯が利用しているが、「その他」における利用率は24.9%となっている。

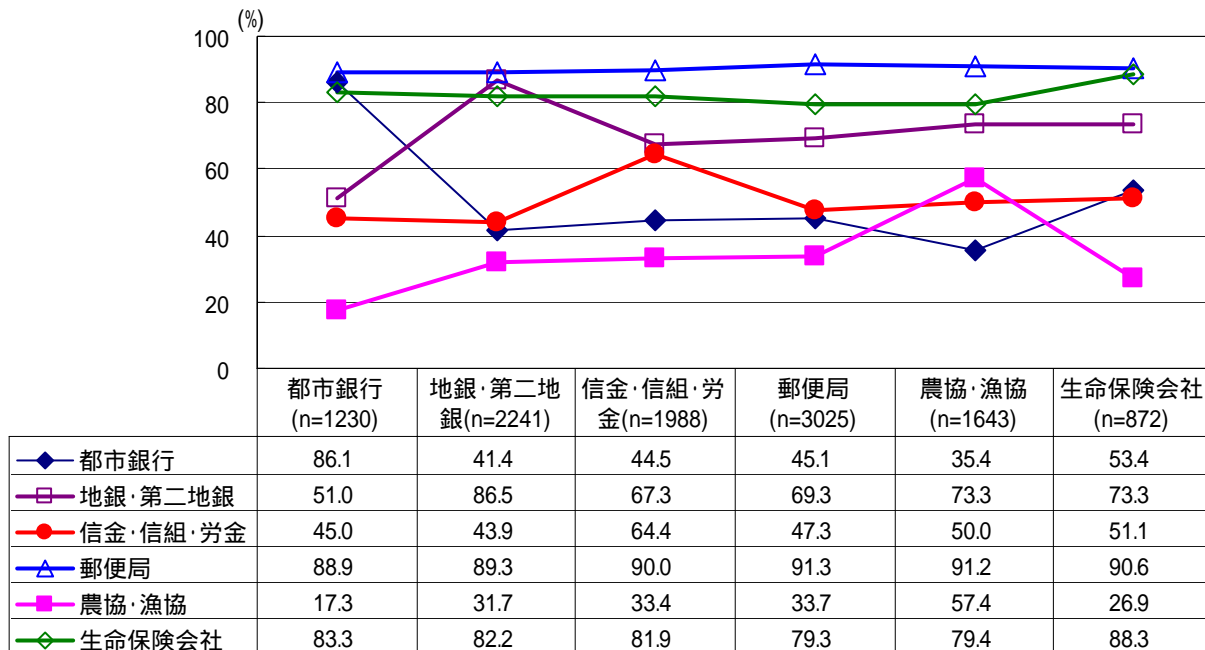
都市圏別 現在利用している金融機関(複数回答) < 2人以上世帯 >



< 自宅近くにある金融機関別 > (2人以上世帯)

利用率の高い金融機関について、2人以上世帯について、自宅近くにある金融機関(問1)別にみると、近くにおいて利用している金融機関は、「都市銀行」(86.1%)、「地銀・第二地銀」(86.5%)、「信金・信組・労金」(64.4%)、「郵便局」(91.3%)、「農協・漁協」(57.4%)、「生命保険会社」(88.3%)となっている。

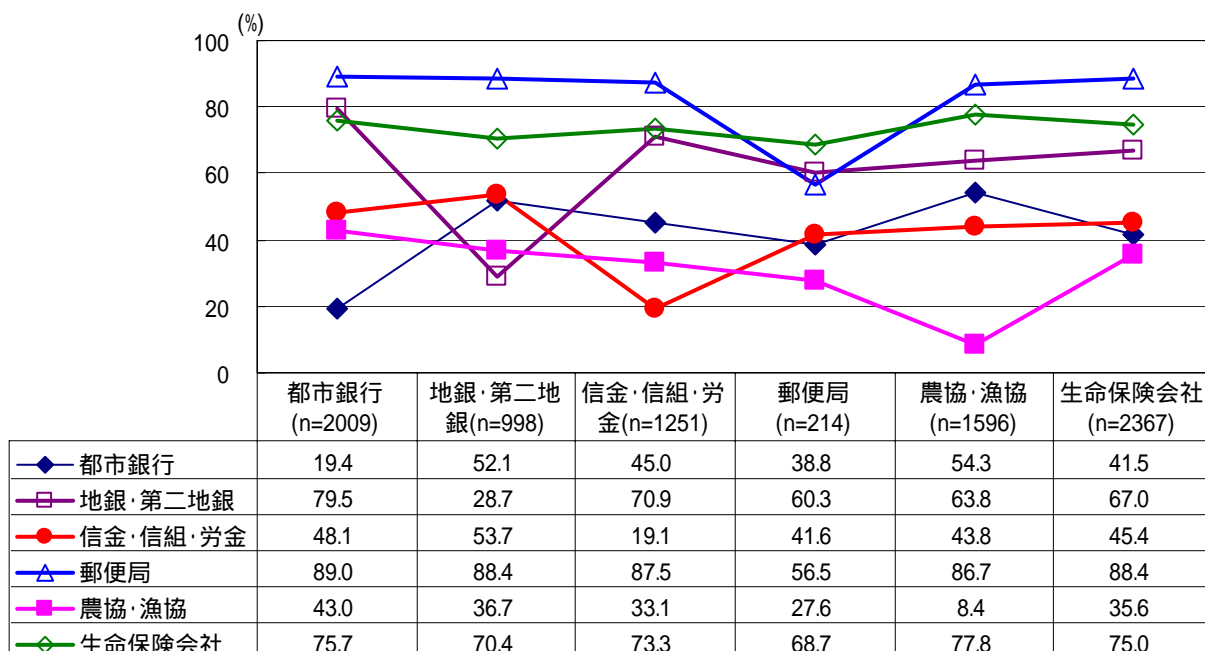
自宅近くにある金融機関別 現在利用している金融機関(複数回答) < 2人以上世帯 >



< 自宅近くでない金融機関別 > (2人以上世帯)

利用率の高い金融機関について、2人以上世帯について、自宅近くでない金融機関(問1で「なかったもの」)別にみると、自宅の近くでないにもかかわらず利用している金融機関は、「都市銀行」(19.4%)、「地銀・第二地銀」(28.7%)、「信金・信組・労金」(19.1%)、「郵便局」(56.5%)、「農協・漁協」(8.4%)、「生命保険会社」(75.0%)となっており、「生命保険会社」の利用率と、「自宅から近い」ことは相関関係が低い。

自宅近くでない金融機関別 現在利用している金融機関(複数回答) < 2人以上世帯 >



## 2. 利用している金融機関の数 (問2 - 2)

### (1) 金融機関の利用合計数

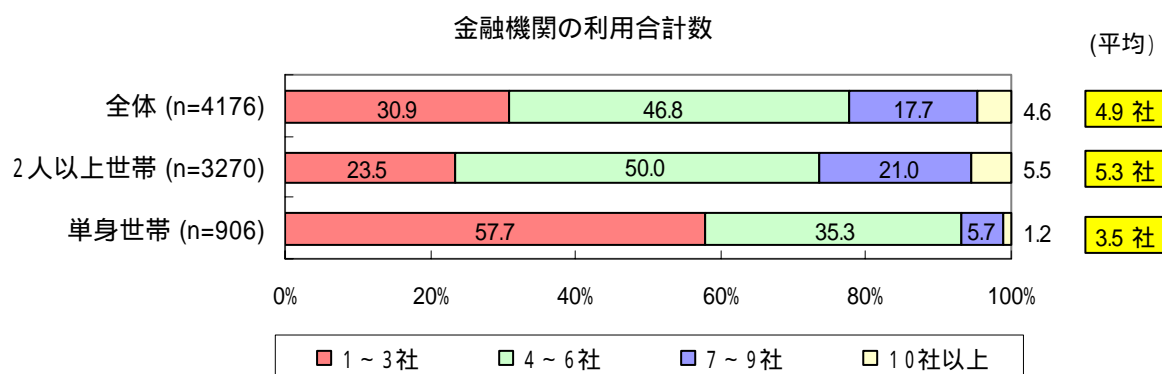
問2(2) さらに、「有」につけた金融機関については、併せて右欄の「利用している金融機関の数」についても、あてはまる番号につけてください。

#### <世帯別>

金融機関を利用している世帯(n=4,176)においては、現在利用している金融機関の合計数は、「4～6社」(46.8%)が最も多く、以下、「1～3社」(30.9%)、「7～9社」(17.7%)、「10社以上」(4.6%)となっている。

単身世帯では、「1～3社」が57.7%と過半数を占めており、2人以上世帯に比べて利用している金融機関の合計数は少なくなっている。

平均利用社数は、全体では4.9社、2人以上世帯では5.3社、単身世帯では3.5社であった。なお、合計数を算出する際には、3社以上を選択した世帯については、3社とみなしている(以下同じ)。

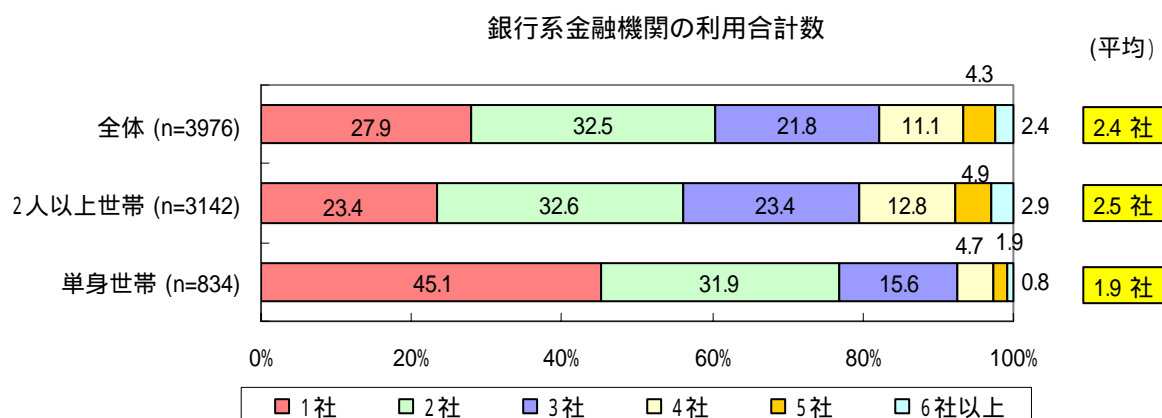


### (2) 銀行系金融機関の利用合計数

銀行系金融機関を利用している世帯(n=3,976)においては、現在利用している銀行系金融機関の合計数は、「2社」(32.5%)が最も多く、以下、「1社」(27.9%)、「3社」(21.8%)、「4社」(11.1%)と続いている。

平均利用社数は、全体では2.4社、2人以上世帯では2.5社、単身世帯では1.9社となっている。

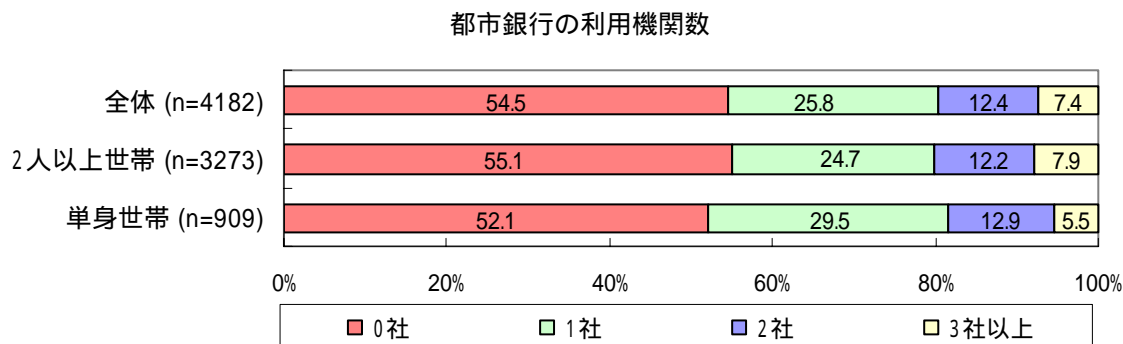
「銀行系金融機関」とは、「都市銀行」、「地銀・第二地銀」、「外資系銀行」、「長期信用銀行」、「信託銀行・商工中金・農林中金」、「信金・信組・労金」、「インターネット専門銀行」をいう。



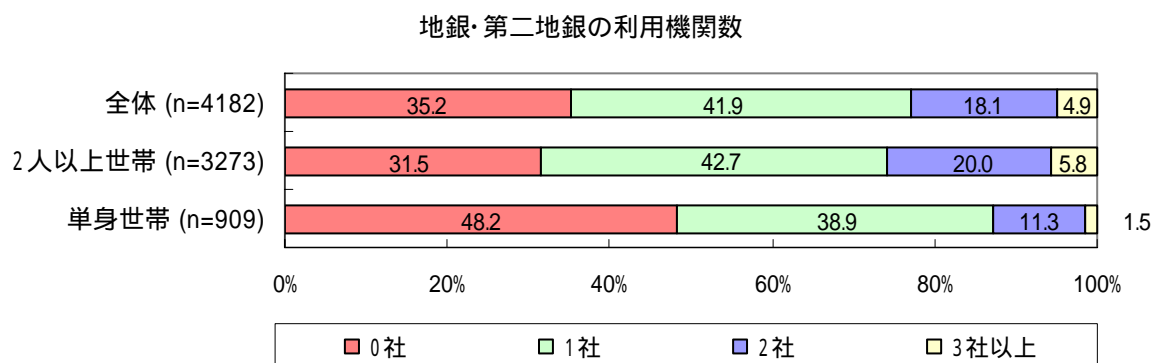
### (3) 金融機関ごとの利用機関数

金融機関ごとの利用機関数は、以下のとおりである。複数(2社以上)の利用が相対的に多かったのは、「地銀・第二地銀」(23.0%(2社:18.1%、3社以上:4.9%))、「都市銀行」(19.8%(2社:12.4%、3社以上:7.4%))、「生命保険会社」(18.2%(2社:13.2%、3社以上:5.0%))であった。

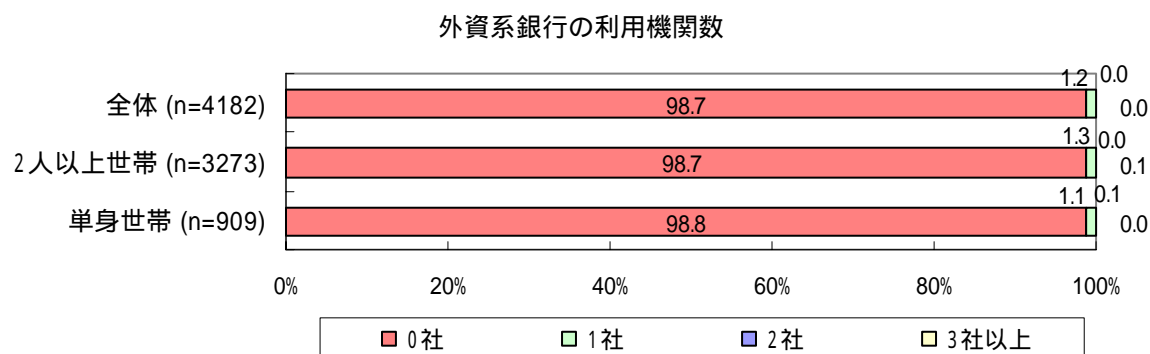
#### (問2 - a) 都市銀行の利用機関数



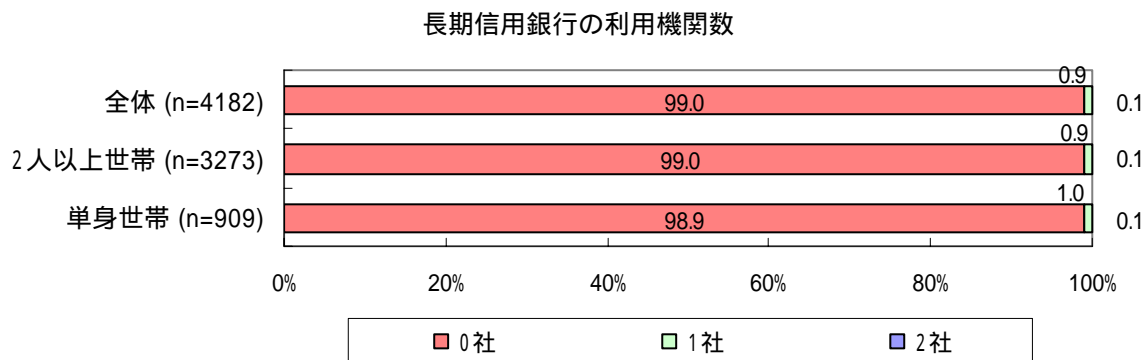
#### (問2 - b) 地銀・第二地銀の利用機関数



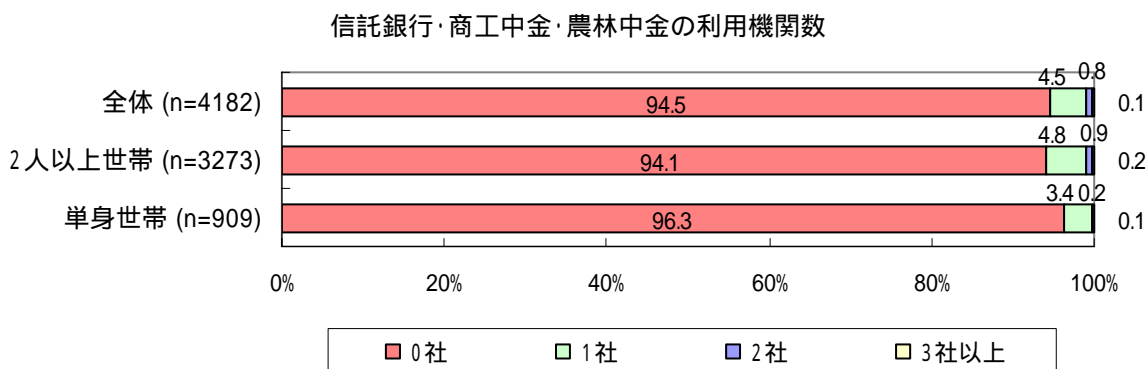
#### (問2 - c) 外資系銀行の利用機関数



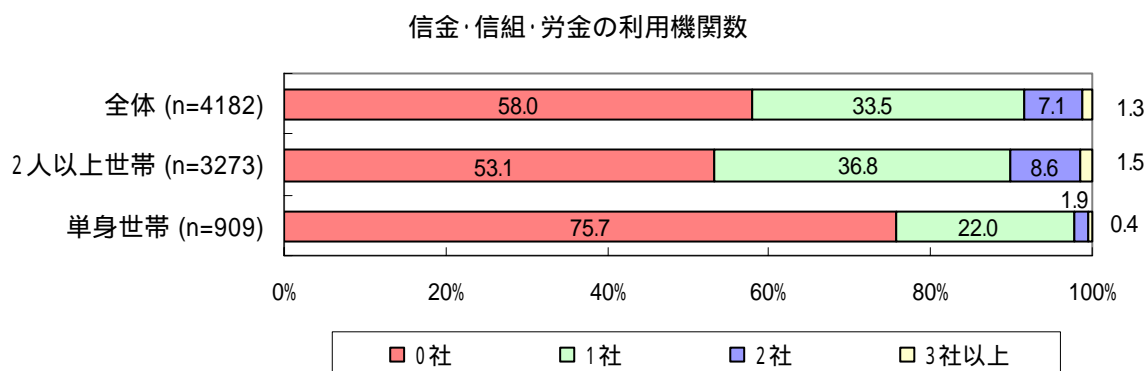
(問2 - d) 長期信用銀行の利用機関数



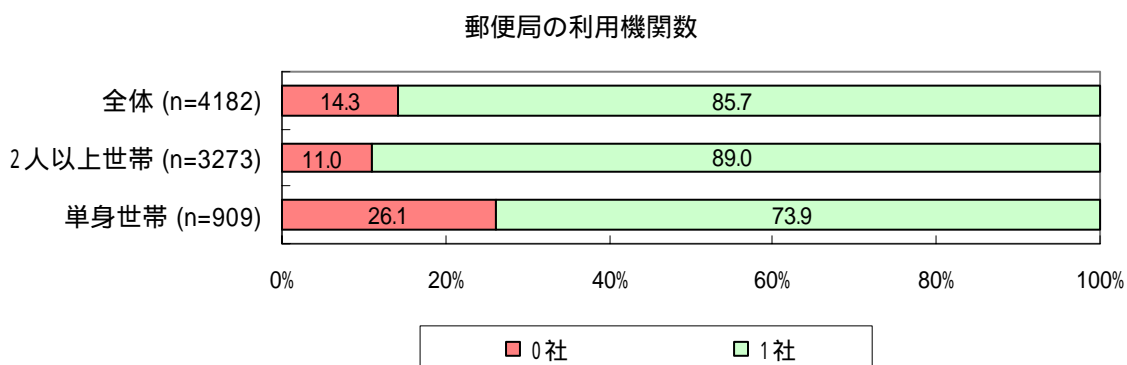
(問2 - e) 信託銀行・商工中金・農林中金の利用機関数



(問2 - f) 信金・信組・労金の利用機関数

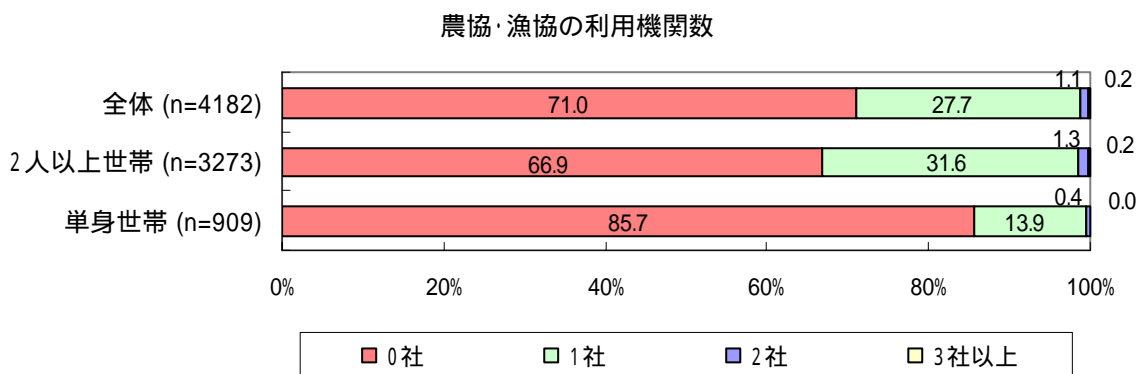


(問2 - g) 郵便局の利用機関数

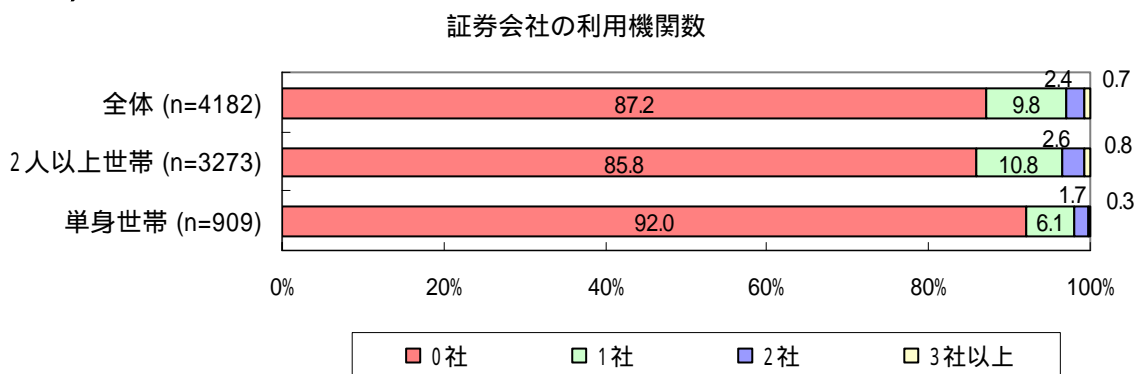




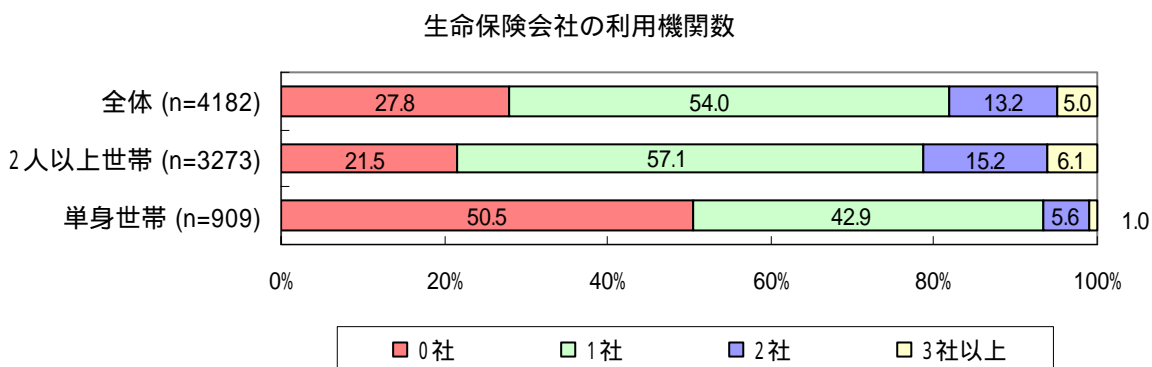
(問2 - h) 農協・漁協の利用機関数



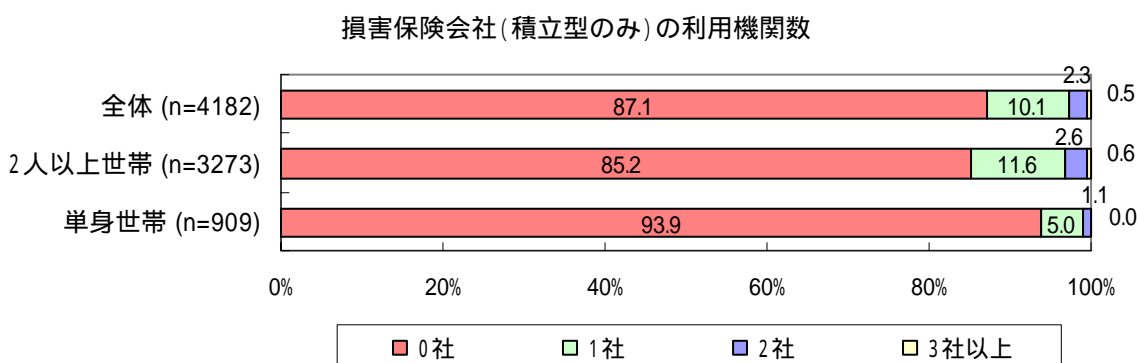
(問2 - i) 証券会社の利用機関数



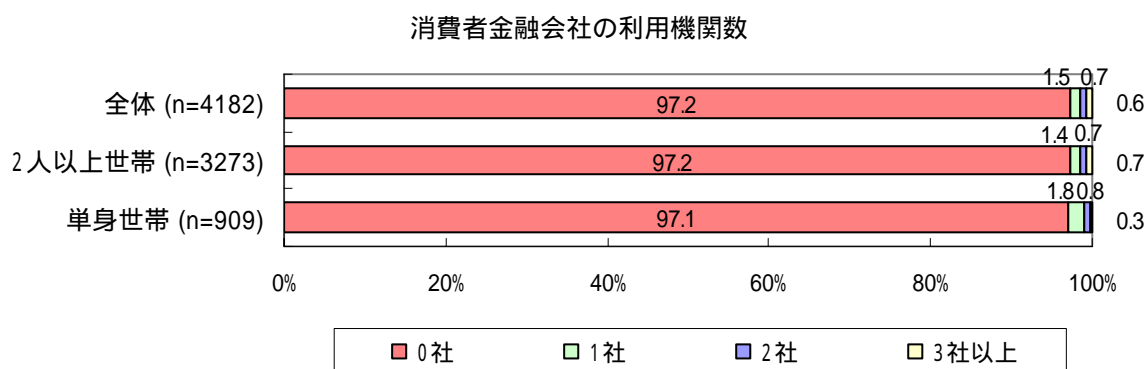
(問2 - j) 生命保険会社の利用機関数



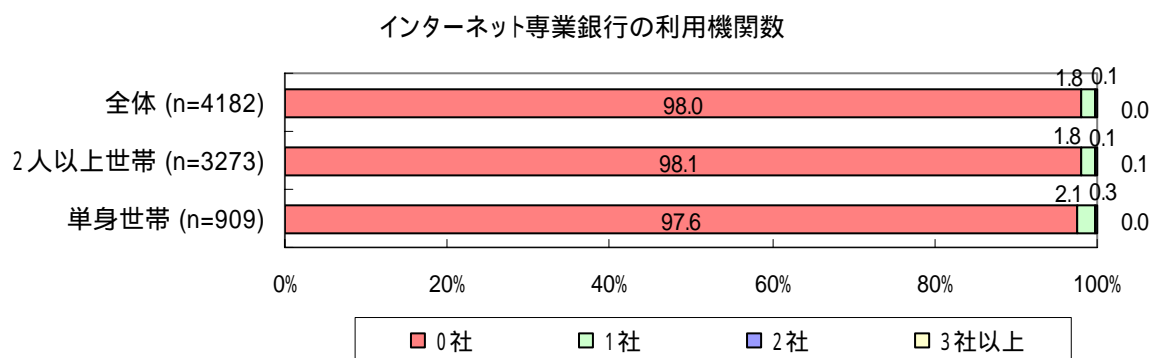
(問2 - k) 損害保険会社(積立型のみ)の利用機関数



(問2 - l) 消費者金融会社の利用機関数



(問2 - m) インターネット専門銀行の利用機関数



(問2 - n) その他金融機関の利用数

